

2024 年度「海外語学実習(朝鮮語)」 参加レポート

文学部 コミュニケーション学科 2年

今回の海外短期研修は、自分の韓国語力の向上と、様々な国の人との交流を目標に参加しました。韓国語力の向上に関しては、韓国語を韓国語で学ぶ集中的な授業を通してかなり実力がついたと感じました。日本で学ぶよりも、語彙や単語が会話を通してスムーズに頭に入ってくる感覚があり、自分の韓国語力で相手に伝えなければいけないプレッシャーが実力の向上につながったのだと思います。

また、私のもう一つの目標である異文化交流においても、同じ韓国語力レベルの人で構成されたクラスだったため、国籍が異なってもお互いに工夫しながら韓国語でコミュニケーションを取り合っただけで仲良くなれたことは、一生の思い出だと感じました。自分から積極的に声をかけて、お互いの違いや共通点を探すことで、慣れない場所でも楽しくコミュニケーションをとることが出来るのだと学ぶことが出来ました。

プログラム内の文化体験授業では、ロッテワールドにみんなで行きました。夏の暑い期間だったため、室内で無理なく満喫することが出来てとても楽しかったです。カチューシャをみんなでつけたり、写真を撮り合ったりと一生の思い出が出来たと感じます。隣接している文化博物館では、日本で学ぶ以上の韓国の歴史を展示物や先生の解説を通して学ぶことが出来て、貴重な体験でした。

また、今回のプログラムには「トウミ」という制度があり、韓国人の方が1対1で私たちの留学生活や、勉強を助けてくれる制度があります。私はそこで出会った1つ年上のお姉さんと友達になったことがとてもうれしかったです。おしゃれなカフェで一緒に勉強をして、美味しいごはんを食べて、お話しする時間はこの留学生活で一番の思い出でした。授業では習うことができないような韓国の若者文化や会話などを知ることが出来たし、反対に日本の文化も知ってもらいながら韓国語で話す能力を高めることが出来ました。テスト前に夜遅くまで勉強に付き合ってもらったことを初め、感謝の気持ちで沢山の日々でした。

韓国には旅行や趣味以外での訪問は初めてだったため、2週間以上の滞在は正直辛い部分もありましたが、トウミのお姉さんや一緒に韓国語を学ぶ仲間たちのおかげで、最後まで楽しい韓国生活を送ることが出来ました。研修を通して、韓国語を学ぶ意味や目標も変わったため、これからの残りの学生生活でより意欲的に韓国語を学んでいきたいと思います。



以上